

東京多摩スマイルワイズメンズクラブ

chartered on 2016.7.17 (2023.7.1 東京多摩みなみクラブと東京町田スマイリングクラブ合併)

2023年
7月号
(第1号)

今月のことば

「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」新約聖書
ローマ書 12:15(伊藤幾夫選)

2023~2024 年度 主題

クラブ会長 伊藤幾夫「さあ、ワイズの楽しさを広めよう！」
 東新部部长 今井武彦(東京むかで)「ALL 東新部、継続・発展！」
 東日本区理事 山田公平(宇都宮)「未来のために今、学びと気づきを！
 未来のために、自信を育み、真の喜びに出合う！」
 アジア太平洋地域会長 利根川恵子(川越)「変革のための光となろう！」
 国際会長 ウルリック・ラウリドセン(デンマーク)「輝かそう、あなたの光を」
 《クラブ役員》会長 伊藤幾夫 副会長 為我井輝忠 直前会長 深尾香子、為我井輝忠
 書記 田中博之 副書記 尾張日出夫 会計 綿引康司 副会計 城田教寛
 担当主事 小野 実

(当クラブは多摩市社会福祉協議会・町田市社会福祉協議会ボランティアセンターの登録団体です)

今月の強調テーマ: 「キックオフ」PR: Public Relations 広報

7月「クラブ発足式・部長公式訪問」プログラム

日時 7月6日(木) 19:00~20:30

会場: 玉川学園コミュニティセンター(Zoomも可)

会費: なし(夕食はありません)

- 【第1部: 発足式・部長公式訪問】司会: 田中博之
 *開会点鐘 東京多摩スマイルクラブ会長 伊藤幾夫
 *ワイズソング 一同
 *東新部部长挨拶 今井武彦(東京むかで)
 *ゲスト/ビジター紹介 司会
 *クラブ合併経過報告 深尾香子(直前部長)
 *祝辞 東日本区理事 山田公平(宇都宮)
 *決意表明・クラブメンバー紹介
 *クラブ役員就任式 司式 今井部長
 *バナー披露
 *来賓祝辞
 東京YMCA 総主事 菅谷 淳(東京)
 東日本区会員増強事業主任 進藤重光(東京)
 東新部会員増強事業主査 加藤義孝(東京)
 *閉会点鐘 伊藤会長
 【第2部: 懇親会】司会: 為我井輝忠
 *部役員からひとこと
 *YMCA ニュース、各種アピール等
 *スマイル献金
 *YMCA の歌
 *閉会

多摩スマイル「ゆるやかな合併」

2023年7月1日から新生「東京多摩スマイルクラブ」がスタートします。コロナ禍、メンバーの高齢化などにより、東新部各クラブは「元気」を失いつつあります。前年度、東新部部长に就任した、当クラブの深尾香子さんは主題として「ALL 東新部」を掲げました。「各クラブの問題としてではなくて、部全体の問題として取り組んで行きましょう」と。「ワイズの楽しさ取り戻すには？」とLT委員会が「Y友広場」を立ちあげ月1回のオンラインミーティングを開催し、イノベーション(大胆な発想、改革)をコンセプトに議論を進めてたどり着いたのが「クラブの統合」です。幸いなことに、当クラブは2年前から、東京コスモスクラブと東京町田スマイリングクラブと偶数月に合同例会を行ってきました。そこで実感できたのが、「人がたくさん集まると活気が生まれ、充実感、楽しさも生まれる！」ということでした。結果として3クラブともに会員が増えました。このような「成功体験」から「統合」が実現できました。そこには「ゆるやかな」ということがキーワードになっていると思います。別々に歩んできたお互いのクラブの「良さ・強み」を生かしつつ、楽しく、さらにエンパワーメント(力の発揮)していけたらと、今からわくわくしています。(伊藤幾夫記)



7月のHappy Birthday 該当者なし

6 月 合 同 例 会	東京多摩みなみ 在籍12名(内広義3)	出席 内 訳	みなみ 4名 スマイリング 3名	(東京多摩みなみの集計分) BF(昨年は集計中のため、今年 度に回す) ぼんぼこファンド 13,900円 今年度累計 52,100円	(東京多摩みなみの集計分) オークション 0円 今年度累計 18,510円 スマイル 7,600円 (合同例会のため、東京YMCA ポジティブネットへ献金) 今年度累計 67,438円
	東京町田スマイリング 在籍6名(内広義1)		メーキャップ みなみ 4名 スマイリング 1名		
例会出席 12名 (内ゲストビジター5名)		出席率 みなみ 89% スマイリング 80%			

6月合同例会報告

6月5日(月)18時半から、東京町田コスモス、東京多摩みなみ、東京町田スマイリングによる合同例会が玉川学園コミュニティセンター(ハイブリッド方式)で開催されました。ゲストスピーチは「~ワイズの未来はあなたから、元気ハツラツを維持するために~」と題して、日本レクリエーション協会公認インストラクターの佐藤節子さん。佐藤さんは、みなさんご存じの厚木クラブのメンバーでクラブ会長をしながら東日本区会員増強事業主任も務められました。このパワーはどこからくるのかと思っていましたが、その理由がわかりました。例会の中で体操を実践され、参加者も見よう見まねでやりましたが、佐藤さんの軽快な動きにとってもついていけませんでした。

「すごい!」です。「あっと驚く、自分のカラダの歪みを取る脳トレ。当然、認知症・介護予防につながります」と日々実践されていらっしゃるようです。



卓話の後、各種報告があり、スマイル献金 7,600 円は東京 YMCA ポジティブネット募金に捧げるとにしました。集合写真を撮り閉会しました。(伊藤幾記)
出席者:【当クラブ】石田、伊藤幾、深尾、小野(Zoom)【東京町田コスモス】加藤、権藤、富樫、松香【東京町田スマイリング】為我井、尾張、城田【ビジター】佐藤節子(厚木) 合計出席者数:12名

(当クラブメキャップ:伊藤江、田中、藤田、綿引)

6月第2例会(運営会議)報告

6月12日(月)19:00から、7月以降の体制を踏まえて、東京多摩みなみと東京町田スマイリングの合同でZoomにて開催され、以下のことが報告、話し合われました。

- 6月合同例会、両クラブ会計報告
- 第4回東日本区役員会報告:両クラブの合併が承認された。
- 年次代議員会報告
- 甲府東日本区大会報告:パワポで紹介
- 新クラブのメンバー報告:現東京多摩みなみ12名、現東京町田コスモス5名
- ぼんぼこ農園関連報告
- 多摩社協関連:7/23災害ボランティア訓練
- 東京町田スマイリングのこれまでの歩みの紹介
- 7月例会プログラム、分担確認
- 7月ブリテン割り付け承認
- 会長主題、活動方針承認

- 8月以降の例会役割分担、ブリテン巻頭言・今月の言葉分担:両クラブを通して50音順で分担する。田中が分担表を作成する。
- 新クラブバナーデザイン:コンセプト、原案に対して意見が出され、細部は田中に一任となった。
- 8月例会プログラムアイデア:納涼例会的な集まりとする前提で両会長が相談し、原案をまとめることになった。
- 落合夏祭り参加の件:賛成多数で、参加することが決定され、滝口さんと相談することになった。(後日、滝口さんの意向を確認した結果、不参加となった。)(田中記)

《出席者》東京多摩みなみ:石田、伊藤(幾)、小野、田中、深尾、綿引。東京町田スマイリング:尾張、城田、為我井 合計9名

2023-2024 年度クラブ役員紹介

新クラブの役員は次のとおりです。よろしくお願ひします。

会長



伊藤幾夫

副書記



尾張日出夫

直前会長



深尾 香子

副会長



為我井輝忠

会計



綿引康司

担当主事



小野 実

書記



田中博之

副会計



城田教寛

新クラブ会員は次の17名です(五十音順)

石川良一、石田孝次、伊藤幾夫、伊藤江理夫、井上富子、小野実、尾張日出夫、佐々木清勝、城田教寛、滝口恵子、田中博之、為我井輝忠、寺沢邦彦、深尾香子、藤田智、松林蓉子、綿引康司

7月「部長公式訪問」

東新部部長

今井武彦さん

東京むかでクラブ



今井部長の主題・スローガン

《主題》「ALL 東新部、継続・発展！」

《スローガン》

私たちは、ワイズ・YMCA に連なる人々の「地の塩、世の光」になろう！

百花繚乱

町田で見かけた花々をお届けします。

左から、四つ葉のクローバー、イワタバコ、芙蓉です。
(為我井選)



寄稿 「不思議なご縁(3)」 松林蓉子

私の2016年度ダイアリーに「2月8日(月)、晴、町田市忠生の名刹「東向山梁田寺」に招かれる。私どもの活動にご理解いただくため。この事をソーマ氏に伝えると、喜んで同行、実現した」と記されている。梁田寺訪問に至ったのは、町田国際交流センターがらみの(?)恒例イベント「夢広場」(2011年10月30日)を機縁としている。町田の街を歩いていたら、アジアのブースが並び、人盛りがあった。会場の「ポッポ広場」に入ってみたら、為我井氏にお会いした。その時もキリスト教徒であると知る由もなかった。畏まった風ではなかったが、梁田寺齊藤謹也住職をご紹介くださった。為我井氏と私のキーワードとなっている「スリランカにも心尽くしを!!」と会話の中でお願いした。少しだけスリランカについて書き添えると、1951年9月サンフランシスコ講和条約時、大蔵大臣(後の初代大統領)ジャヤワルダナ氏の演説で「憎悪は憎悪によって止むことはなく、愛によって止む」(『法句経』)を引用し、流れを一変させた。対日賠償請求権も放棄し、助けられた国である。さて、「ゆっくりと心静かに一步一步まっさらな気持ち、まっすぐな心、出会いの喜び」を梁田寺とソーマ氏が住職を務める

2023-2024 東新部スタート

いよいよ新年度がスタートしました。当クラブにとっても、新しいスタートです。部役員には当クラブから下記5名が入っています。

今井部長は、昨年度、深尾部長が掲げた「ALL 東新部」を「継続・発展」することを目指しています。当クラブとしても、全面的に協力していきましょう。

《東新部役員》(抜粋)

部長：今井武彦(東京むかで)

次期部長：(未定)

直前部長：深尾香子(東京多摩スマイル)

書記：伊丹一之(東京むかで)

会計：石田孝次(東京多摩スマイル)

会員増強事業主査：加藤義孝(東京)

地域奉仕・Yサ事業主査：綿引康司(東京多摩スマイル)

国際・交流事業主査：比奈地康晴(東京)

ユース事業主査：城田教寛(東京多摩スマイル)

LT委員長：伊藤幾夫(東京多摩スマイル)

第1回評議会が下記の日程で開催されます。

評議会構成員は部役員およびクラブ3役(会長、書記、会計)です。

*日時：2023年7月22日(土)13:30~16:30

*場所：東京 YMCA 東陽町センター (伊藤幾記)

シェアマインドとの協働に向けて

余剰食材の有効利用について検討を続けて来たNPO法人シェアマインドさんは、この間も更に多くの協力者を得て、生鮮食品の加工(レトルト化)を主軸として、生活困窮者の雇用、企業単位での社会貢献、自団体の円滑な運営についてモデルケースを創り上げました。私たちは、ぽんぼこ農園で収穫した野菜を生産者の立場として提供し、もう一方では企業に準じた立ち位置で、加工品を購入することで団体を支援しています。一般の方々は「食べて支援」することで、一連の食品ロスを応援出来ます。現在大口のご購入先を大募集中。各地のバザーにて出品を。フードパントリーの支援品に。子ども・誰でも食堂でのメニューとしてもご活用下さい。季節毎に、旬の味をお届け予定です。(深尾記)

▽ガンパハの平和寺(サーママハ・ヴィハラヤ)との絆に触れておきたい。シャム派マルワッタ支派西部州監寺僧正の昇任式典には梁田寺の皆様も参列されている。ふたつの国の二つの寺院が多岐にわたる活動の華を咲かせ続けている。ごく一例だが、子どもたちの情操教育として「蓮華抱き人形合同制作」がある。このように両国の友好親善と国際交流が行われている。振り返れば、さりげない為我井氏の仲立ちが効果的に動き、愛語の会の人形作り、高齢者の憩いの場、国際支援・・・と展開されている。かつての出逢いで誰が予知できたであろうか。不思議な縁をかみしめている。(次号につづく)

東日本区大会がリアルで開催される

6月3日(土)～4日(日)、甲府 APIO で開催。

今大会のテーマは「かふふ・く」。「かふふ」とは「こうふ」のことで、それをもじって、さらに幸福と読み、「甲府に来て幸福になってもらう」という意味だそうです。甲府 21 ワイズメンズクラブがホストを務めてくれました。東京多摩みなみクラブからは伊藤さん、田中夫妻、深尾さん、綿引氏さんが参加され、東京町田スマイリングクラブからは城田さんと私が参加しましたが、果たして皆さん幸福になれましたでしょうか。午前中は、代議員会が開催されました。特筆すべきことは、次期山田公平理事が通常1年間の任期を2年間務めることです。これはYMCAの若手リーダーによる社会貢献活動等を大規模にワイズが支援し、その効果が出るのは最低でも2年を要するということが根底にあるとのこと。大会プログラムは、3日はバナーセレモニー、開会式、各種報告、俳優石丸謙二郎さんの講演、ユースアワー、晩餐会が行われ、4日は日曜礼拝、東日本区アワー（各種表彰、理事就任・引継ぎ式）、閉会式と続きました。

あわただしいスケジュールでしたが、東日本区の多くの方々とお会いし、至福の時を持つことが出来たと言ってもよいでしょう。大会を成功に導いた関係者の皆様に感謝します。
(為我井輝忠)

区大会に参加して

対面して話が出るのは、本当にいいですね。甲府の2日間は3年間 Zoom で共に闘った方々と更にガッチリ繋がれたと感じています。「あー、〇〇さ～ん！」と笑顔を交わします。これだけで事足ります。「あの時は、ありがとうね。」こんな素敵な瞬間があるのでしょうか。さて、興奮が収まると「ところで例の件だけ...」散会時までどこまで話せるか気が揉めます。向こうに見える人とまだ話せていません。時間が重なり聞けない分会も有ります。区大会は...忙しい。

(深尾香子)

久しぶりのリアルによる東日本区大会であり、これまでご縁の無かった他クラブの皆様と交流が図れた貴重なひと時だったと思います。「カレー・じゃがいも」の販売では各クラブの皆様にご購入いただき、完売しました。また隣に陣取っていらっしやった石巻広域クラブの皆様ともお話が弾みました。晩さん会では千葉ウエスト、甲府 21、十勝といったクラブの皆様と同席でき、私にとっては新たな「絆」ができたと感じています。

(綿引康司)

私は、都合で第1日目だけの出席でしたが、「やはりリアルの大会はいいな」という気持ちで充実感いっぱいでした。今回とくに印象に残ったのは、ホストの甲府 21 クラブのみなさんの「おもてなし」です。甲府 21 クラブはメンバー数も50名を超えて、東日本区の中で一番勢いのあるクラブということは知ってはいましたが、その「すごさ」を肌で感じました。

大会中ほとんどのメンバーがありとあらゆるところでホスピタリティを発揮し、参加者に楽しい時間を過ごしてもらおうという気持ちが伝わってきました。楽しい時間をありがとうございました。(伊藤幾夫)
第1日目晩餐会、オープニングコンサート、韮崎市吹奏楽団の演奏、昭和歌謡メドレー、津軽海峡冬景色あれは来たー。その後、私の所属する吹奏楽団次回のコンサートで演奏することに何かの縁を感じます。
(城田教寛)

大会での両クラブ関連の様子の一部を、ご紹介いたします。
(田中博之)



バナーセレモニーでは、特別に両クラブの合併がアナウンスされ、拍手で祝福されました。両クラブのバナーの見納めでした。



ぼんぼこ農園のジャガイモ、ニンニクと農園のタマネギも材料としたシェアマインドのカレーの販売ブースにて



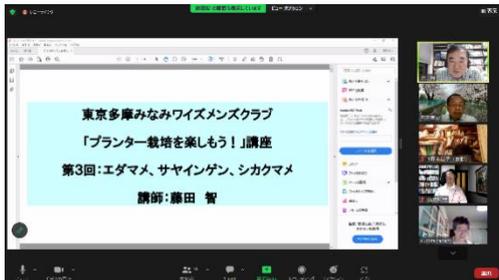
城田さんが衣笠さんからユース事業主任職を引継ぎ、深尾さんが東新部部長職を今井さんに引継ぎました。

《東日本区大会での表彰一覧》

うれしいことに東京多摩みなみ、東京町田スマイリングともに「グランドスラム賞(全献金達成賞)」をいただきました。この賞の受賞は59クラブ中20クラブだけの快挙です。この賞の他に東京多摩みなみは、ASF 献金貢献賞1位、YES 献金貢献賞1位、FF 献金貢献賞2位、BF 献金貢献賞2位、TOF 献金貢献賞2位、ユース活動支援献金貢献賞2位、RBM 献金貢献賞3位を受賞し、東京町田スマイリングは、新入会員獲得努力賞(2名)、為我井さんは新入会員獲得優秀個人賞(2名)を受賞しました

第5期プランター野菜講座続報

6月プランター野菜講座は、6日の第3回と20日の第4回が、Zoom方式で開催されました。第3回のZoom画面での参加者は、19名でした。テーマ野菜は、種植えから育てるエダマメ、サヤインゲン、シカクマメでした。参加者の多くは、前回の再チャレンジとなるもので、今度こそはとの思いが画面から伝わってきました。前半の講義を終えて、生育写真のマンツーマンワンポイントレッスンでは、熱心に問いかけ藤田講師との熱いやり取りで盛り上がりました。前回に苗植えしたキュウリ、ナス、ピーマン、ミニトマトが花を咲かせ始めたところでした。回を追うごとに野菜の様子が変わって行きます。不安と期待が交差する場面でもあります。第4回講座のZoom参加者は、15名でした。今回は、クラブ



の例会と重なったり、急用があったりで参加できない人が多くいました。その一方で、メールで近況をお知らせいただきました。生育写真は、多くの方が、メールで送ってくださいました。この生育写真は、アルバム化されており、送ってくれた写真をすべて見比べながら多くを学ぶことができます。参加できなかった人の写真にも藤田講師から様々なアドバイスがありました。この講座のもう一つの特徴である講座の様子を録画してYouTubeで事後閲覧することが可能となっています。参加者に広く浸透しており、見逃しや聞き漏れのチェックの他、実際に植え付ける際の見直しなどにも活用されているようです。第4回講座のテーマ野菜は、夏野菜代表のゴーヤとクウシンサイでした。夏本番の前に気になる共通のテーマは、病気と虫対策でした。そして、藤田講師からのアドバイスで多くあったのが、プランター栽培ゆへの追肥の頻度やこまめな追肥についても詳しく説明がありました。また、今回辺りから採れたての野菜の料理の写真も寄せられました。見事に育った野菜と美味しそうな料理の写真を見てうらやましくなりました。おいて行かれたような焦りを感じる頃でもあります。野菜は、生き物で、手間をかけ愛情を持って育てないと上手く育たないことを再認識させられるとともに病気の兆候、害虫対策、日当たり、水と肥料など育てる上での奥行きを痛感させられました。(石田記)



ぼんぽこ農園便り

夏本番を前に農園周りの雑草刈込み作業を手伝ってきました。佐々木さんは、電動式草刈りを操作し、私は、刈り取った雑草をかき集め、捨て場まで運びました。一方、夏野菜は収穫期を迎え、キュウリ、ナス、ピーマン、ミニトマトの初物が収穫できました。まだ、数はそろいませんが、お試し用にと帰り道に聖蹟桜ヶ丘の「慈有塾」の教室にお届けしてきました。校舎のドアが開いていたので教壇の机の上にビニール袋のままお届けしました。鮮度の高いみずみずしいお野菜を食べて元気な状態で間近に迫る高卒認定試験に合格していただきたいとの願いを込めてお届けしました。6月19日と21日の2回に分け、私と佐々木さんが届けてきました。いつものことですが、お渡しした時のスナップ写真を撮り忘れ、お伝え出来ません。(石田記)



YMCA ニュース

担当主事 小野 実

東京YMCAへのご理解、ご協力に感謝申し上げます。

◆5月27日、「第20回東京YMCA会員大会」が開催され、山手センターに73名が集い、約10人がYouTube配信を視聴しました。東日本大震災復興支援のための石巻物産販売を行った他、国際協力募金の呼びかけには32,198円のご厚志が寄せられました。

◆1923年に開設された山中湖センターが100周年を迎えるのを記念し、様々な課題を持つ子どもたち100人を山中湖センターで実施するキャンプに招待する企画をスタートします。また、10月より「山中湖センター100周年記念募金」を開始する予定です。

◆今後の主な行事日程

- ・「早天祈祷会」 7月3日 7:00~8:00
会場：山手センターおよびZoom
奨励：本田真也氏
(元副総主事/YMCA史学会理事)
- ・「キッズワールドカップ in 韓国」8月7~11日
会場：ソウルYMCA
- ・「第21回アジア・太平洋YMCA大会」
日時：9月15日~20日 会場：インド・チェンナイ
テーマ：回復力のあるコミュニティとして共に歩む
—Vision2030を通しての生き方の変革—
- ・「第37回インターナショナル・チャリティーラン」
個人ウォーキング(オンライン)：9/16~23
チームウォーキング(オンライン) 9/23~10/1
チームレース(都立木場公園)：9/23

今後の予定 7/10(月)19:00~20:30 第2例会 Zoom